

グローバルシナジー・プロジェクト海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	タイで学ぶ！食と私たちのサステナビリティ
-----	----------------------

留学費用項目 (プログラム参加費除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 7000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	800 円	海外 SIM は安く、Wi-Fi より価格を抑えることができました。
現地交通費	円	(大学まで 徒歩 15 分)
教養娯楽費	約 1500 円	
被服費	0 円	
雑費	11200 円	お土産など
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	20500 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
渡航に必要な海外用ワクチン接種証明書を発行する際、マイナンバーカードを所持していなかったため、発行に時間がかかったこと。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で両替した その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
インターネット(Amazon)のロコミで現地で使えることを確認したうえ、SIM カードを購入した。
4)日本から準備していき助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ティッシュや除菌シート。トイレや衛生面など日本と違うことも多いので事前に調べ確認しておいた方が安心して出発することができます。

現地情報

1)留学期間中、研修先内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
外務省海外安全ホームページや在タイ日本国大使館の LINE やメールを受信し情報収集した。 幸いにも盗難等の犯罪には巻き込まれなかった。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: ホテルのインターネット接続が不安定で1日に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、ホテルで使用できない時はカフェに行った。)

ホテルのインターネット接続が不安定で接続後 10 分ほどでつながらなかった。
 明治大学アセアンセンターは Wi-Fi が繋がりが安心だが、私は SIM を購入してよかったと思っている。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)	
<input checked="" type="checkbox"/> ホテル	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
1 人 1 部屋シングルルームだったため、プライベート空間が確保されていた。ベッドがとても広く快適だった。 ただ、壁が薄く隣人の声やドライヤーの音、シャワーの音まで響いて聞こえた。 トラブルを防ぐためにも、特に夜間は生活音の配慮が必要だと感じた。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
事前学習で良かった点	
事前に現地の学生や先生との交流をすることができたこと。 これから留学に行くんだという自覚が多少は芽生えたとし、向こうでの暮らしや様子を聞くことができ持ち物や心構えなど留学準備の参考に役立った。日本人学生同士でも繋がりを創ることができてよかった。	
留学先での学習で良かった研修や内容	
「食とサステナビリティ」というテーマに関して現地の農場訪問や起業家のお話を通じてサステナビリティを自分事化できたこと。新たな視点を知り、価値観が広がる感覚を得ることができた。毎日 SNS を確認する時間もないくらいとても充実した日々を過ごすことができた	
滞在先・現地での生活に関すること	
初めて訪れる滞在先では日本との暮らしの違いを事前に理解しておくといい。食事や気候など。 また国によって傘をさす文化がないなどあるため、現地にとけ込みたい場合は情報収集を。 日本の治安の良さは基本考えられないため、自分の荷物はしっかり管理すること。貴重品類はショルダーバッグなど身に着ける小さめバッグだと安心。	
プログラムを通じた気づき	
言語の壁を越えて想いを知ることは心動かされる、ということ。ウィライラック先生などから通訳を受けながらも講義を受ける度、英語ができれば、もっと表現の幅も広がると身をもって体感しました。英語から離れた生活を送っていましたが、再度言語や異文化交流の大切さに気付くことができました。	
そのほか	
率直な気持ちを申すと、正直留学が決定した時は嬉しい気持ちと共に不安も大きくありました。それは初めての海外留学であったこと、タイの学生や日本人学生とも笑顔で終えることができるのか…。でもそんな不安は途中からなくなり、楽しみへと変わり帰るときにまたタイに来て皆に会いたいという強い気持ちから別れを涙したほどでした。これは当初の私には予想もできなかったビックサプライズ(+の変化)でした。今回の留学で学んだプラスなことに焦点を当てる、強みを伸ばす、好きを活かすといったポジティブな視点をこれからも大切にしたいと思います。今回調整を進めて下さり、一生モノの思い出に残るような留学を実現していただき本当にありがとうございました。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がこの留学先を選んだ理由はテーマである「食とサステナビリティ」への興味が深かったことです。農学部学生ということもあり、元々は明治大学の海外農業体験プログラムに参加したいと考えていました。しかし新型コロナウイルスの影響でかなわず、留学はもうできないだろうな、と正直諦めていました。

そんな中 Oh! Meiji で今回の留学プログラムの案内を見て、挑戦したい！という一心で応募しました。でも「4年生は少ないだろうし、英語の授業なんて2年生以来取っていない」「英語力は皆無…」不安もたくさんある中でしたが、プログラムを終えてこれだけは言えます。**本当に行ってよかった！**

言語力に不安があるあなたも、海外経験が少なく心配なあなたも。最初はみんな何かしら不安を抱えているものです。せつかくの機会ですし、あなたのやってみたいという意欲を持ってぜひ飛び込んでみてほしいです。きっと世界を広げてくれる一生モノの体験ができます。後悔なく学生生活を全うしてくださいね。私も1人の留学経験者として応援しています！

グローバルシナジー・プロジェクト海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	タイで学ぶ！食と私たちのサステナビリティ
------------	----------------------

留学費用項目 (プログラム参加費除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	6000 円	
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	2450 円	
現地交通費	円	(大学まで 分)
教養娯楽費	7000 円	
被服費	円	
雑費	円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	15450 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本国内で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
海外旅行向けのデータ通信サービスを利用
4)日本から準備していき助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
羽織: タイは暑いですが室内はかなり冷房が効いているため、羽織があると良い。 虫除けスプレー: タイには蚊がいるため定期的に虫除けスプレーをしていた。

現地情報

1)留学期間中、研修先内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前学習でタイの先生から情報を得たり、「たびレジ」に登録して情報を得たりした。 実際に犯罪に巻き込まれたことはなかった。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: ホテルのインターネット接続が不安定で1日に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、ホテルで使用できない時はカフェに行った。)

ホテルの Wi-Fi は接続が不安定で、一日に一度は全く繋がらないときがあるが、海外旅行向けのデータ通信サービスを利用していたため、4G 回線はいつでも利用できた。
 明治大学 ASEAN センターにいたときは、ASEAN センターの Wi-Fi を利用させていただいた。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)	
<input checked="" type="checkbox"/> ホテル	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
滞在先のホテルはバンコクの FX ホテルというホテルでした。ホテルの部屋のコンセントは日本と同じ A タイプを使用することができたため、変換器を使用する必要はありませんでした。しかし、タイと日本では電圧が異なるため、日本の電化製品を使用する場合は注意が必要です。また、室内は冷房をつけるとかかなり乾燥するため、寝るときは冷房を切り、マスクをして寝るなど対策をしないと良いかも知れません。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
事前学習で良かった点	
事前学習では ZOOM 上でタイの学生と共にタイやタイ語についての知識、食品ロス・食料ロス・食料廃棄などの定義について学びました。現地での学習の前にタイの学生と交流できたことで、留学先でもスムーズにコミュニケーションを取ることができました。また、ある程度留学先での講義の内容を予習できたため、現地での研修の理解も深まりました。	
留学先での学習で良かった研修や内容	
留学先ではタイの様々な農場に足を運び、持続可能な農業を営んでいる方々からお話を聞くことができました。野菜の苗の移し替えや肥料の作成などの農業体験により机上の学習では得られない農業の楽しさと大変さを知ることができ、農家の方の思いにより一層共感することができました。パーマカルチャーやルーフトップファームなど日本であってなかなか体験することができない農業の様子を視察できることはこのプログラムの魅力の一つだと思います。	
滞在先・現地での生活に関すること	
衛生面: 食べるもの、飲むものについて十分注意すること。生の果物や野菜は食べず、必ず火が通ったものを食べる。ミネラルウォーターを持ち歩き、屋台などで出される水や氷は飲まないこと。	
プログラムを通じた気づき	
私の最も大きな気づきは、「タイと日本の結びつきの強さ」です。町を歩けば数十メートル間隔で日本のコンビニが並び、抹茶のスイーツや日本のお菓子・食べ物が売られていました。日本で暮らしているなかでタイという国を感じることはそれほどありませんでしたが、タイには日本のものが染みついていることを知り本当に驚きました。	
そのほか	
5 日間という短い期間ではありましたが、濃密で人生の宝となる 5 日間でした。タイの学生とのつながりが生まれたことが何よりも嬉しいです。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は3年次から食料経済学を専門とするゼミに入室し、食と農が抱える問題について学びます。日本の食や農業事情についてはある程度知っていますが、世界規模の食料問題については知識が無く、食についての考えを広げたいという思いからこのプログラムに参加しました。UNEPの方や食料安全保障を専門とする研究者の方との対話、農業体験を通して食のサステナビリティについて考えを深めることができたと思います。

共にプログラムに参加したタイの学生とてもおおらかで優しい方々です。日中のプログラムの後、彼らは毎日のようにバンコク内を案内してくれ、日本の学生とともに時間を過ごしてくれました。五日間密に行動を共にするので、短い期間でしたがかけがえのない友達になることができました。また、彼らは日本語専攻の学生と言うこともあり、日本語がとても流ちょうです。私たちのプログラムがこれほど充実したものになったのは、彼らの語学力のおかげだと思います。彼らを見て、他国の人とコミュニケーションを取ることができるというのは自分の世界を広げることに繋がると実感したので、私自身の語学力向上への意欲も高まりました。

海外に学生の友達できるというのは、大学生のうちに留学した人の特権だと思います。また、海外に行くだけでも自分の世界が広がります。是非学生のうちに留学に挑戦してみてください。

グローバルシナジー・プロジェクト海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	タイで学ぶ！食と私たちのサステナビリティ
-----	----------------------

留学費用項目 (プログラム参加費除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	22000 円	食べ物のお土産代も含む
図書費	3000 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	8500 円	
現地交通費	1000 円	(大学まで 徒歩15分) 地下鉄代金
教養娯楽費	1000 円	
被服費	1200 円	
雑費	10000 円	
その他	0 円	例:
その他	0 円	例:
合計	46700 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし パスポート早めに更新しておくが良い
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本円2万円を成田空港でタイバーツに両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
事前にインターネットでポケット Wi-Fi を手配、自宅に郵送しておく
4)日本から準備していき助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
虫よけスプレー、日焼け止め、薄手のカーディガン 日本の夏に必要なものを持っていくという感覚が大事

現地情報

1)留学期間中、研修先内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
自分の持ち物、特に貴重品は常に肌身離さず持つこと ホテルの部屋を清掃してもらった際も、スーツケースのカギは占めておくこと 盗難や犯罪の被害はなし
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: ホテルのインターネット接続が不安定で1日に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、ホテルで使用できない時はカフェに行った。)

ホテルのフリーWi-Fiは部屋に行くと接続が悪くなってしまう
 事前にポケット Wi-Fi を用意しておいたが、保証も含めて一週間で8500円近くかかってしまったので SIM を変えるのが一番いいかもしれない。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)	
<input checked="" type="checkbox"/> ホテル	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可) 共有部分なし	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>滞在先 FX ホテル</p> <p>部屋は一人には十分な大きさ。良かったところは、ベッドの大きさとソファ、机があること。アメニティがあること。朝食が種類豊富で美味しいこと。</p> <p>少し不自由に感じたことは、シャンプーリンスとシャワージェルが日本と違って、泡立たないこと。鏡が小さいこと。空調の調節がうまくいかず、喉を傷めること。</p> <p>コンセントは日本の A タイプと同じものが使えたが、USB の差込口はない。</p>	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
事前学習で良かった点	
<p>事前にタイについての情報や知識を得られるだけでなく、タイ語の学習を通して、現地の学生とコミュニケーションできたことが良かった。また、互いの「強み」について理解することで、いつもの旅とは違う気づきがあった。</p> <p>また、zoom だけでなく、日本でのサステナビリティに関する取り組みを視察したことで、環境やその活動に関わる人の思いを切に感じることができた。</p>	
留学先での学習で良かった研修や内容	
<p>サステナビリティを意識した活動をされている農場に3つも訪問できたことが貴重な経験だった。都市の屋上を使って、施設内の廃棄物を肥料に変えたり、広大な土地を使って、観光客を呼ぶ施設を配置し、その地域の活性化につなげたりするなど、日本での応用を考えさせられるような魅力的な活動がたくさんあった。</p>	
滞在先・現地での生活に関すること	
<p>講義や視察終了後も、夜遅くまでタイ現地の学生が日本の学生に様々なタイの名所を案内してくれて、仲が深まった。正直、ここまで密に関わることができると思っていなかったのが、驚いたし、本当に嬉しかった。タイには日本人の口に合う美味しい食べ物が多くあり、現地の人にしか分からないポイントもあるので、考えるより前に行動すること、頼ることが大事。</p>	
プログラムを通じた気づき	
<p>仕事など日常生活のすべては、自身の幸せのためにあるということ。</p>	
そのほか	
<p>このプログラムにおいて、特に仲間との一生の繋がりを作るという目標が達成できたと感じております。サステナビリティに関しての講義をはじめとして、プレゼンテーションや講義後の自由時間においても学生全員が、助け合う精神を持っていたように感じます。このプログラムに応募しようと思った自分を褒めてあげたいくらい楽しくて幸せな時間だったと感じています。プログラムの企画や運営、旅行準備においてもサポートして下さった人々に感謝の気持ちでいっぱいです。</p>	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は、この「タイで学ぶ！食とサステナビリティ」のプログラムが自分にとって大きな意味のあるものであったと感じている。大学に入学した時から、留学をするなら何か明確な目標が欲しいと考えていた。このプログラムの告知が届いたときは、食という一つの分野に特化していること、近いうちに個人も企業も社会問題への対処として、「サステナビリティ」をこれから考えていく必要があると感じたこと、この二つの理由から応募した。このプログラムで出会った仲間一人一人がとにかく良い刺激や学習意欲を与えてくれる貴重な存在で、タイという異国の地での気づきや発見が学生生活の1番の気づきになった。個人的に思うのは、この4年間という長い期間、少し行動的にならないと、案外ボーっとする時間が多い。アルバイトや、遊びで予定がすぐに埋まってしまうという人も多いかもしれないが、学生だからこそ時間の余裕を活かして、新鮮な気づきの得られる場所へ出向いてみれば、行動している自分に自信がつく。特に留学となれば、一歩踏み出す勇気も必要だが、活動中の出会いや気づきは一生の宝物になると分かった。

グローバルシナジー・プロジェクト海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	タイで学ぶ！食と私たちのサステナビリティ
-----	----------------------

留学費用項目 (プログラム参加費除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	4500 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10000 円	
現地交通費	500 円	(大学まで 徒歩10 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	50000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	20000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
1週間だったためビザは必要ありませんでした。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港で両替しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
空港で貸してもらえらるGLOBAL WiFiというサービスを利用しました。
4)日本から準備していき助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ゼリー(朝が早い時、おなかの調子が悪くなった時の朝ごはんになりました) 粉末のお茶(タイのお茶は甘いため) 日本のお菓子(タイの学生との会話のきっかけになりました)

現地情報

1)留学期間中、研修先内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
タイの先生や学生に気を付けることを教えてもらいました。チャックのついているバッグで出かけることをおすすめします。 信号無視など、交通ルールが日本よりも機能していません。慣れているタイの学生たちが危険を察知して誘導してくれたので助かりました。パスポート等重要なものはホテルの金庫で管理しましょう。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: ホテルのインターネット接続が不安定で1日に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、ホテルで使用できない時はカフェに行った。)

ホテルと大学のWiFiは十分に繋がりました。(ホテルの部屋によっては不安定なようです)
プログラムの内容が充実していることもあり、あまり携帯を触る機会がなかったため通信で困ったことはほとんどありませんでした。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)
<input checked="" type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
とてもきれいで広々としたホテルでした。一人部屋だったため、気を遣わず疲れを取ることができました。 タイは暑いですが、冷房をつけっぱなしにすると乾燥することに加えて寒いので、空調で体調を崩さないように気を付けてください。 歯磨きなどで口をゆすぐときも、ミネラルウォーターを使用することをおすすめします。 トイレにペーパーを流してしまわないように気を付けてください。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

事前学習で良かった点
事前に日本でもフィールドワークできたことがよかったです。ホテルニューオータニのサステナビリティに関する取り組みを視察しましたが、学びになるとともに、日本人学生の仲も深まったためタイに行くとき少し緊張がほぐれていました。 タイの学生とも事前にオンラインでお話できたため、実際にタイで会えた時に話しやすかったです。
留学先での学習で良かった研修や内容
フィールドワークで多くの実践者にお会いし、ポジティブなパワーをもらい、心の底から楽しいと思える体験がたくさんできました。虫を食べたり、ミズをたくさん触ったり、ボートに乗ったり、美味しいごはんを食べたり、五感を使いながらサステナビリティを学ぶことができました。日本人・タイ人混合のグループで活動するため、とても仲良くなれて嬉しいです。
滞在先・現地での生活に関すること
放課後にタイ人の友達が、大学や周辺の町を案内してくれてとても楽しかったです。 タイはかなり親日だと感じました。バンコクの街には日本語の看板も多く、セブンイレブンやすき家もあるのでもしタイ料理が口に合わなくても安心です。でもせっかくなのでタイ料理食べてみてください。
プログラムを通じた気づき
無理せず笑顔でいることが、自身と周囲の人々の幸せを作ることが大事。
そのほか
はじめは「サステナビリティ」について学ぶことを主な目的として応募しましたが、国際交流の楽しさ、人と繋がることの幸せを実感できました。またタイならではの有機農業の方法を体感することができ、非常に興味深く、刺激になりました。今後も様々な国や形態の農場を見に行ってみたいです。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は「サステナビリティ」について学びたいという想いが強く、このプログラムを選びました。実際にタイならではの有機農業の方法や農場の運営方法を楽しみながら学ぶことができましたが、それ以上にタイの人とお話をしていく中で、タイの文化や考え方やタイ人のことが大好きになれたことが私にとって大きな幸せでした。タイの実践者の環境や農場に対する想いの強さ、どんなことがあっても笑顔でいるポジティブさ、タイの学生との対話、日本の学生の助け合い、全てにパワーをもらいました。

私はコロナの影響もあり海外渡航がずっとできていなかったため参加に不安を感じていましたが、一週間という期間かつリーズナブルだったので少し気軽に参加できました。行かなかった後悔よりも行った後悔！少しでも興味があるなら参加してみてもよいと思います。私は周囲の人よりも国際交流に関心がないのかも…海外は不安…とずっと思っていたのですが、たった一週間のこのプログラムをきっかけにその考え方もガラッと変わりました。

留学に行かれる皆さん、一度きりの体験を楽しんで来てくださいね。不安なこともあるかもしれませんが、きっとたくさん楽しいことが待っています！

フォトギャラリー



フォトギャラリー

